2027年度　社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院　（病床数　562）【1年次】

受入人数	【1年次】1名

常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇				当直*/月 *夜勤扱い	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与		時間外	休日		有給		リフレッシュ休暇	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤	300,000		無		有 当直は夜間時間外勤務として支給、また別途夜勤手当あり	有	8:30～17:30	11日		3日	有	4回/月(1年を通して救急科当直)	有（単身者）築浅自己負担35,000円	組合健康保険，厚生年金，雇用保険，労災加入，医療費共済制度加入

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	消化器内科，呼吸器内科，循環器内科，腎臓内科，脳血管・神経内科，糖尿病・内分泌内科を各4週間ずつ研修します。内科は各サブスペシャリティを支える外科系各科との垣根が低いため、患者中心に内科医としてのベストを尽くす研修が可能です。地域の実地医家、在宅訪問医などとの深い連携も重ねてくる中で培われた全身を診る内科医を目指しています。内科臨床研修指導医は30名です。
救急科	東部病院は救急患者数が横浜市内で最も多い病院の一つです（年間2万4千人）。2年目の研修医や指導医と共に、軽症患者から最重症の三次救急までの初期診療を中心に研修するため、救急患者の初期対応に関しては1年間で研修医1人あたり、1,000例近い経験を積むことができます。市内に2カ所の横浜市重症外傷センターにも指定され、重症外傷患者が集約されるようになり、さらに救急外来内に専用のIVR-CT室（ハイブリッドER）が稼働するなど、全国的にも屈指のActivityを誇り、他の救命救急センターでは経験できないような劇的な救命例を体験できます。当直は1年を通して救命救急センターの当直になります。救急科臨床研修指導医は7名です。
外科	消化器外科，血管外科，乳腺外科の研修をします。指導医の専門分野によりチーム化しているので、研修医もその一員として行動します。がん診療連携拠点病院や日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設にも指定され、da Vinciによるロボット手術も実施するなど、大学病院にもまったく引けをとらない手術件数（年間の胃癌切除約100件、大腸癌切除200件以上）や最先端の技術を通して学びます。外科臨床研修指導医は5名です。
小児科	小児の健康、発達、福祉に関する小児医療に最低限必要な知識、技術、態度を習得します。外来では、主に救急医療を通してcommon diseaseについて学習し、病棟では担当医ｸﾞﾙｰﾌﾟの一員として主にcommon diseaseを経験します。各年齢における最良のQOLを重視し、多くの領域の専門医をそろえ、common diseaseから専門領域の診療まで行っています。小児病棟はNICU6床、GCU 8床を含め46床で構成されています。小児科臨床研修指導医は3名です。 ※小児科・産婦人科・精神科から選択となります。
産婦人科	産婦人科必修研修プログラムでは、女性特有な問診の仕方や診察方法を習得します。産婦人科特有な検査の診断力を養い、それらを実際に用い患者の診断、治療に役立てることをできるようにします。実際に指導医と共に患者を担当し、可能な限り分娩や手術にも立ち会い実際的な知識を身につけます。年間1,000件の分娩があります。産婦人科臨床研修指導医は5名です。 ※小児科・産婦人科・精神科から選択となります。
精神科	精神医学の知識はすべての医師にとって必要不可欠なものです。将来の志望に関係なく医師として最低限必要な精神医学の知識や技能を習得し、ある程度自ら治療できる能力に加え、必要に応じて専門家にコンサルトするためのスクリーニング能力も習得します。主に研修すべき精神症状は、精神科だけでなく、他科においても一般的に経験する症状を中心とし、臨床医としての基礎を築くことを研修の目的とします。精神科臨床研修指導医は4名です。 ※小児科・産婦人科・精神科から選択となります。
一般外来	並行研修として実施し、その回数は10回を上限とする。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科
横浜市東部病院の全科

○研修アピール
救命救急センター、小児科救急、精神科救急など充実した救急医療と、がん、循環器疾患などに対応した高度専門医療を柱に、地域ニーズに応えながら診療科や職種の枠を超えた新しいチーム医療を展開しており、プライマリ・ケアで求められるアプローチを磨くために十分な症例と機会があります。救急医療から地域医療までの幅広い研修を通じて「疾患ではなく患者をみる」という全人的な患者の評価ができる医師に育てます。そして、当院が取り組んでいるチーム医療の一員として活躍できる人材になって頂きます。

○研修医からのメッセージ
多くの症例が集まる救急外来では研修医1年目からファーストタッチで診察を行うことができます。自分で鑑別をあげ、検査をオーダーし、上級医や指導医にコンサルトして治療方針を決めていきます。救急以外でもcommon diseaseから、大学病院かと思うような症例まで幅広く経験を積むことができます。
また、上級医の指導のもと、学会発表の機会を得られます。
研修医向けの勉強会も多岐にわたり、手技を含むものも多いです。研修医同士での勉強会も行っています。
研修医同士も大変仲が良く、働きやすい環境で、充実した研修生活を過ごせると思います。

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項
・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

研修実施責任者：　風巻　拓

※問い合わせ先
担当部署・担当者名：　臨床研修医室　　宮下

住所：　〒230-0012　横浜市鶴見区下末吉3-6-1

TEL：　045-576-3000

E-mail：kenshu@tobu.saiseikai.or.jp